

魚沼基幹病院 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	急性期嚥下障害患者における嚥下造影検査の画像解析～信頼性の検証および嚥下機能・身体機能・栄養状態との関連性の検討～
②対象者及び対象期間，過去の研究課題名と研究責任者	
<p>対象者：2024年3月～2026年3月までのデータ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・嚥下機能低下があり，嚥下造影検査（以下，VF）を実施された者</li> <li>・画像解析ソフトにて嚥下動態の解析が可能であった者</li> </ul>	
③概要	
<p>嚥下造影検査（Videofluoroscopy, VF）は，嚥下評価のゴールドスタンダードであり，嚥下関連器官の運動学的かつ時間的な動態解析が可能である。動態解析は，無料の画像解析ソフトウェア（Image J ver.1.54, National Institutes of Health）が広く使用されているが，1フレームごとの手動解析のため，解析に時間を要すことや評価者間のバラつきが課題である。一方，半自動的に解析を行えるDIPP-MotionV/2dでは，時間の短縮，結果の一致性を高めることが期待されるが，両者のVF画像解析の信頼性・妥当性を比較した研究はない。加えて，急性期の嚥下障害患者のVF画像解析の研究は少なく，栄養状態や身体機能などの機能的転帰との関連は不明な点が多い。</p>	
④申請番号	E2024002101
⑤研究の目的・意義	<p>本研究では，両者の解析ソフトにおける信頼性・妥当性の検証をすることを目的とした。さらに，急性期嚥下障害患者の嚥下動態解析を行い，身体機能や栄養状態などの関係性を分析することも目指す。本研究の結果が明らかになれば，急性期における嚥下動態解析の評価方法の選択やリハビリテーションの効果測定，訓練方法の決定の精度を高める一助となる可能性がある。</p>
⑥研究期間	調査予定期間：倫理審査委員会承認後～2027年3月31日
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	<p>本研究結果は国内・国際の学会発表や論文執筆としてデータをまとめることを予定している。また，個人情報を保護した上で，共同研究先である新潟医療福祉大学言語聴覚学科の研究者と情報やデータを共有する可能性がある。</p>
⑧利用または提供する情報の項目	対象者数（介入数）：150名
⑨利用の範囲	<p>研究責任者：石崎雅史</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所属：リハビリテーション技術科 言語聴覚士</li> </ul> <p>研究分担者：渡辺慶大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所属：リハビリテーション技術科 言語聴覚士</li> </ul>

	<p>研究分担者：今井滉太</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 所属：リハビリテーション技術科 言語聴覚士</li> </ul> <p>責任医師：大西康史</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 所属：リハビリテーション科 医師</li> </ul> <p>研究分担者：落合勇人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 所属：新潟医療福祉大学 助教・言語聴覚士</li> </ul> <p>研究分担者：田村俊暁</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 所属：新潟医療福祉大学 講師・言語聴覚士</li> </ul>
④試料・情報の管理について 責任を有する者	研究責任者：石崎雅史
④お問い合わせ先	<p>研究責任者：石崎雅史</p> <p>所属組織：魚沼基幹病院</p> <p>所属部署：リハビリテーション技術科</p> <p>住所：新潟県南魚沼市浦佐 4132</p> <p>電話：025-777-3200</p>